

課目名	衛生管理Ⅱ										
課目名(英)	Public health & hygiene management										
単位数	2単位			時間数		60時間		担当者		竹原直道・星野行孝・相良献	
実施年度	2022年度			実施時期		通年		担当者実務経験		大学院にて研究する傍ら、 歯科医師として訪問診療棟の歯科業務に従事	
対象学科・学年	美容科 2年										
授業概要	美容現場の中枢として存在する美容師は、公衆衛生並びに環境衛生の知識が必要である。また職務上、日常的に利用者との身体的接触が避けがたい局面に遭遇する。当然美容師自身が利用者より予期せぬ感染症に感染する危険にさらされる可能性とともに、自らが感染症を利用者へ感染させる媒体となる可能性も想定される。このような危険性が常に存在する以上、美容師には感染症ならび感染症の予防と衛生管理に資する、充分で確実な知識並びに消毒を実践する能力が求められることは当然である。この授業では、他の科目とリンクしながら必要な衛生管理の知識と実技の習得を目指す。										
授業形式	講義： ○			演習： △		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○					美容業に関連する感染症の知識を知ったうえで、その感染症の危険性を指摘することができる。					
	○					代表的な感染症やその症状を知ったうえで、その感染症の感染経路や病原体を説明することができる。					
	○					感染症予防の3原則について、その対策を3つ以上列挙し、説明することができる。					
	○					消毒法の種類を列挙し、それぞれの利点、欠点をあげ、説明することができる。					
		○				消毒薬の希釈について、机上計算とシュミレーションをすることが出来る。					
テキスト・教材 参考図書	・日本理美容教育センター版 衛生管理 ・日本理美容教育センター版 ワークブック										
授業計画	回数	授業項目・内容							授業外学修指示		
	1	感染症発見の歴史、感染症と法律、感染症の法律上の分類							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	病原体の身体への侵入・媒介経路による分類							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	病原体別による分類							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	微生物の種類、微生物の形と大きさ、微生物の構造、微生物の増殖と環境の影響							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	微生物の病原性と人体の感受性、汚染、感染及び発病							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	常在細菌叢、免疫と予防接種、感染症発症の要因							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	感染症予防の3原則							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	感染症総論の練習問題							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	空気・飛沫を介して感染する感染症。結核等							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	飲食物を介して感染する感染症・血液を介して感染する感染症							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	動物・節足動物を介して感染する感染症							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	具体的な対策の例							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	感染症に関する練習問題(1)							教科書全体に目を通しておくこと		
	14	感染症に関する練習問題(2)							教科書全体に目を通しておくこと		
	15	感染症に関する練習問題(3)							教科書全体に目を通しておくこと		
	16	消毒とは・消毒の意義・消毒に関連のある法の規定							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	17	消毒を怠った場合の危険性と美容師の責任・消毒法の種類・消毒に必要な条件・微生物の抵抗力							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	18	理学的消毒法							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	19	化学的消毒法・アルコール・次亜塩素酸ナトリウム・界面活性剤							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	20	化学的消毒法・グルコン酸クロルヘキシジン・その他							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	21	すぐれた消毒法とその実施上の注意							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	22	消毒法総論の練習問題							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	23	消毒法実習・各種消毒薬・器具の使い方・常備しておくとい消毒薬と希釈液の濃度							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	24	消毒薬希釈法							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	25	美容所の消毒の実際							教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		

	26	美容所における衛生管理要領	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	27	消毒と自首管理体制・自主管理点検表	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	28	消毒法に関する練習問題(1)	教科書全体に目を通しておくこと				
	29	消毒法に関する練習問題(2)	教科書全体に目を通しておくこと				
	30	消毒法に関する練習問題(3)	教科書全体に目を通しておくこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト		○				20%
履修上の注意							

課目名	保健Ⅱ				
課目名(英)	health cosmetology				
単位数	2単位	時間数	60時間	担当者	山口薫
実施年度	2022年度	実施時期	通年	担当者実務経験	2018年保健教員資格取得
対象学科・学年	美容科2年				
授業概要	国家試験の合格を目標とし、美容保健の知識が美容の仕事に、また、個人の健康管理に生かされるように学習する。また、美容師として知っておくべき解剖学に関する基礎知識、現場で役立つ知識を知ること目標とする。前期では人体の機能を中心に学び、美容師として社会貢献できるように国家試験合格を目指し学習をする。後期では皮膚科学に関する事を中心に学習をしていく。				
授業形式	講義：○	演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
		○			
		○			
	○				
	○				
テキスト・教材 参考図書	美容保健教科書・配布プリント・筆記用具				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	1編1章 頭部の体表解剖学			予習・復習・プリントの整理
	2	1編1章 顔部、頸部の体表解剖学			予習・復習・プリントの整理
	3	1編2章 骨格器系 …骨の種類と構造			予習・復習・プリントの整理
	4	1編2章 骨格器系 …骨髄について			予習・復習・プリントの整理
	5	1編3章 筋系 …頭部の筋			予習・復習・プリントの整理
	6	1編3章 筋系 …上肢と下肢の筋			予習・復習・プリントの整理
	7	1編4章 神経系…脳について			予習・復習・プリントの整理
	8	1編4章 神経系…脊髄 について			予習・復習・プリントの整理
	9	1編5章 感覚器系 …五感について			予習・復習・プリントの整理
	10	1編5章 感覚器系 …神経系の保健			予習・復習・プリントの整理
	11	1編6章 血液・循環器系 …心臓について			予習・復習・プリントの整理
	12	1編6章 血液・循環器系 …血管について			予習・復習・プリントの整理
	13	1編6章 血液・循環器系…まとめ			予習・復習・プリントの整理
	14	1編7章 呼吸器系/1編8章 消化器系			予習・復習・プリントの整理
	15	1編7章 呼吸器系/1編8章 消化器系…消化腺 酵素			予習・復習・プリントの整理
	16	2編1章 皮膚の構造…皮膚			予習・復習・プリントの整理
	17	2編1章 皮膚の構造…皮下組織・細胞			予習・復習・プリントの整理
	18	2編2章 皮膚付属器官の構造…脂腺について			予習・復習・プリントの整理
	19	2編2章 皮膚付属器官の構造…汗腺について			予習・復習・プリントの整理
	20	2編3章 皮膚の循環系・神経系 …保護作用 外的刺激			予習・復習・プリントの整理
	21	2編3章 皮膚の循環系・神経系 …免疫・解毒・排除作用			予習・復習・プリントの整理
	22	2編4章 皮膚の生理機能…皮膚の再生作用			予習・復習・プリントの整理
	23	2編4章 皮膚の生理機能…皮膚の生理機能			予習・復習・プリントの整理
	24	2編5章 皮膚の保健…皮膚の状態について			予習・復習・プリントの整理
	25	2編5章 皮膚の保健…アルカリ中和機能について			予習・復習・プリントの整理

	26	2編6章 皮膚の疾患・・・一次性刺激物によるカブレ	予習・復習・プリントの整理				
	27	2編6章 皮膚の疾患・・・菌による疾患	予習・復習・プリントの整理				
	28	国家試験に向けて・・・1編1章 頭部の体表解剖学～1編5章 感覚器系	予習・復習・プリントの整理				
	29	国家試験に向けて・・・1編6章 血液・循環器系～1編7章 呼吸器系	予習・復習・プリントの整理				
	30	国家試験に向けて・・・2編1章 皮膚の構造～2編6章 皮膚の疾患	予習・復習・プリントの整理				
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		○				80%
	小テスト		○				20%
履修上の注意	小テストにて平常点を加点する。毎講義においてプリントを配布するため、それらを保管できるファイル(フラットファイル形式が理想)を購入し、必ずプリントの整理を行っておくこと。						

課目名	美容技術理論Ⅱ					
課目名(英)	beauty theory					
単位数	3単位	時間数	90時間	担当者	山口薫・江藤登志美・遠藤広美	
実施年度	2022年度	実施時期	通年	担当者実務経験	美容室にて美容師として勤務	
対象学科・学年	美容科2年生					
授業概要	美容師資格を取得し一人前の技術者になるため美容の基礎的な理論と技術を学ぶ事を目的とする。学年末にある国家試験に向けた指導と業界の求める美容師として理解しておかなければならない基礎知識を徹底して学習していく。国家試験に向けた4択問題を中心に出題解答し試験にしっかりと慣れていく。					
授業形式	講義：○	演習：△	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					エステティックにおける皮膚の生理と構造を踏まえてフェイシャルケア技術、ボディケア技術の説明ができる
	○					爪の構造と機能、カット形状、公衆衛生を踏まえ、ネイル技術の種類を挙げてその説明ができる。
	○					メイクアップのスキンケアからブラッシュオンメイクアップまでの手順を説明出来る。
	○					まつ毛エクステンションの手順と注意事項を述べる事ができる。
	○					日本髪の種類、特徴、道具について関係づけることができる。
	○					着物の種類を挙げ、適切な道具を使用した着付けの技術を説明出来る。
	○					美容技術理論の国家試験対策問題で60%以上正解できる。
テキスト・教材 参考図書	美容理論教科書・プリント・ノート・筆記用具					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	8章 エステティック - エステティック概論・皮膚の生理と構造・カウンセリング・美容におけるマッサージ理論			予習・復習・プリントの整理	
	2	8章 エステティック - フェイシャルケア技術・フェイシャル及びデコルテマッサージ・フェイシャルパック・ボディケア技術・ボディーマッサージ			予習・復習・プリントの整理	
	3	9章 ネイル技術 - ネイル技術概論・ネイル技術の種類・爪の構造と機能・爪のカット形状			予習・復習・プリントの整理	
	4	9章 ネイル技術 - ネイル技術と公衆衛生・カウンセリング・ネイルケア・アーティフィシャルネイル・手と足のマッサージ			予習・復習・プリントの整理	
	5	10章 メイクアップ - メイクアップ概論・顔の形態学的な観察・メイクアップと色彩・皮膚の生理と構造・メイクアップの道具			予習・復習・プリントの整理	
	6	10章 メイクアップ - スキンケア・ベースメイクアップ・アイメイクアップ・アイブロウメイクアップ・リップメイクアップ			予習・復習・プリントの整理	
	7	10章 メイクアップ - ブラッシュオンメイクアップ・まつ毛エクステンション			予習・復習・プリントの整理	
	8	8章～10章 小テスト①			予習・復習・プリントの整理	
	9	11章 日本髪 - 日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和			予習・復習・プリントの整理	
	10	11章 日本髪 - 日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術・日本髪の手入れ・かつら			予習・復習・プリントの整理	
	11	12章 着付けの理論と技術 - 着付けの目的・礼装・着物と季節・着物のいろいろ・帯・小物			予習・復習・プリントの整理	
	12	12章 着付けの理論と技術 - 着物各部の名称・着物のたたみ方・着付けの一般的要領・留袖着付け技術・振り袖着付け技術・帯締め、帯揚げの結び方			予習・復習・プリントの整理	
	13	12章 着付けの理論と技術 - 男子礼装羽織、袴着付け技術・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・婚礼着付けの際の注意事項・和装花嫁・洋装花嫁			予習・復習・プリントの整理	
	14	11章～12章 小テスト②			予習・復習・プリントの整理	
	15	2章 - シャンプーイングの目的と種類と特徴・選び方のポイントを知る			予習・復習・プリントの整理	
	16	2章 - スカルプトリートメントの目的・スカルプトリートメントの種類と特徴のポイントを知る			予習・復習・プリントの整理	
	17	1章 - コーム・ブラシ・シザーズの名称・選定法・手入れ法・種類			予習・復習・プリントの整理	
	18	1章 - レザー・アイロン・ドライヤー・スチーマー・遠赤外線機・その他の道具の名称・選定法・手入れ法・目的を知る			予習・復習・プリントの整理	
	19	2章 - リンス、コンディショナー、トリートメントの違い、役割、成分選び方			予習・復習・プリントの整理	
	20	序章・1章・2章 国家試験過去問題演習			予習・復習・プリントの整理	
	21	4章 - ベーシックなカット技法・ワンレングスカット・グラデーションカット・レイヤーカット・セイルレングスカットのポイントを知る			予習・復習・プリントの整理	
	22	4章 - ヘアカッティングとは シザーズとレザーの扱い方・ヘアカッティングの正しい姿勢のポイントを知る			予習・復習・プリントの整理	
	23	4章 - シザーズ・レザーによるカット技法のポイントを知る			予習・復習・プリントの整理	
	24	4章 国家試験過去問題演習			予習・復習・プリントの整理	

	25	5章 - パーマネントウェーブの歴史と現在 パーマネントウェーブの理論と実際のポイントを知る	予習・復習・プリントの整理				
	26	5章 - パーマネントウェーブ用剤の種類・パーマネントウェーブ用剤に関する注意事項 のポイントを知る	予習・復習・プリントの整理				
	27	5章 - パーマネントウェーブの実際・パーマネントアラカルのポイントを知る	予習・復習・プリントの整理				
	28	5章 国家試験過去問題演習	予習・復習・プリントの整理				
	29	6章 - ヘアセッティングとは・ヘアパーティング・ヘアカーリング・のポイントを知る	予習・復習・プリントの整理				
	30	6章 - ループとウェーブの関係・カールの種類	予習・復習・プリントの整理				
	31	6章 - ヘアセッティング(ローラーカール、バックコーミング、ブロードドライ、アイロンセッティング、アップスタイル)のポイントを知る	予習・復習・プリントの整理				
	32	6章 国家試験過去問題演習	予習・復習・プリントの整理				
	33	7章 - ヘアカラーリング概論・ヘアカラーの種類ポイントを知る	予習・復習・プリントの整理				
	34	7章 - 毛髪のアンダーコート～ヘアカラーリングの注意事項のポイントを知る	予習・復習・プリントの整理				
	35	7章 国家試験過去問題演習	予習・復習・プリントの整理				
	36	3章 ヘアデザイン 問題演習	予習・復習・プリントの整理				
	37	8章・9章 国家試験過去問題演習	予習・復習・プリントの整理				
	38	10章 国家試験過去問題演習	予習・復習・プリントの整理				
	39	11章・12章 国家試験過去問題演習	予習・復習・プリントの整理				
	40	国家試験に備えて復習(対策問題演習・過去問題演習)	予習・復習・プリントの整理				
	41	国家試験に備えて復習(対策問題演習・過去問題演習)	予習・復習・プリントの整理				
	42	国家試験に備えて復習(対策問題演習・過去問題演習)	予習・復習・プリントの整理				
	43	国家試験に備えて復習(対策問題演習・過去問題演習)	予習・復習・プリントの整理				
	44	国家試験に備えて復習(対策問題演習・過去問題演習)	予習・復習・プリントの整理				
45	国家試験に備えて復習(対策問題演習・過去問題演習)	予習・復習・プリントの整理					
評価方法	(1)授業の中で小テストを●回実施する。(2)ファイル提出を実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。(4)授業態度は授業中の発表・居眠り・私語などで評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				75%
	小テスト	◎	○				10%
	提出物				◎		10%
	授業態度				◎		5%
履修上の注意	毎講義においてプリントを配布するため、それらを保管できるファイル(フラットファイル形式が理想)を購入し、必ずプリントの整理を行っておくこと。						

課目名	美容実習Ⅱ				
課目名(英)	Beauty Training				
単位数	16	時間数	480時間	担当者	山口薫・江藤登志美・遠藤広美
実施年度	2022年度	実施時期	通年	担当者実務経験	美容室にて美容師として勤務
対象学科・学年	美容科2年次				
授業概要	国家試験合格に向けて課題である美容技術の基礎(ワインディング・オールウェーブ・カット)を身に付ける。衛生面でも国家試験評価対象となっている為、衛生面も同時に身に付ける。				
授業形式	講義：△	演習：△	実習：○	実技：○	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
			○		
			○		
	○				
			○		
				○	
テキスト・教材 参考図書	美容実習道具一式				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1～2	国家試験第2課題オールウェーブ(コームの使い方・ローション塗布の仕方)			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する
	3～7	国家試験第2課題オールウェーブ 7段構成理解			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する
	8～9	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する
	10～16	国家試験第2課題オールウェーブ 7段構成理解			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する
	17～20	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する
	21～26	国家試験第2課題オールウェーブ 7段構成理解			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する
	27	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する
	28～30	国家試験第2課題オールウェーブ 7段構成理解			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する
	31	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する
	32～40	国家試験第2課題オールウェーブ 7段構成理解			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する
	40～44	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する
	45～52	国家試験第2課題オールウェーブ 60分			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する
	53	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する
	54～59	国家試験第2課題オールウェーブ 60分			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する
	60	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する
	61～66	国家試験第2課題オールウェーブ 50分			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する
	67	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する
	68～70	国家試験第2課題オールウェーブ 50分			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する
	71～73	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する
	74～110	アートビューティーコレクション準備			各自課題となっている物を持ち帰り準備に取り組む
	111～113	国家試験第2課題オールウェーブ 40分			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う
	114～115	国家試験第2課題ワインディング・オールウェーブ テスト			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う
	116～117	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う
	118～122	国家試験第2課題オールウェーブ 40分			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う
	123～124	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う

	125～ 129	国家試験第2課題オールウェーブ 30分	居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う				
	130～ 134	国家試験第1課題レイヤーカット	居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う				
	135～ 136	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き	居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う				
	137～ 141	国家試験第1課題レイヤーカット	居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う				
	142～ 143	国家試験第2課題オールウェーブ 30分	居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う				
	144～ 146	国家試験第2課題オールウェーブ 25分	居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う				
	147～ 148	国家試験第2課題ワインディング 20分巻き	居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う				
	149～ 151	国家試験第2課題オールウェーブ 25分	居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う				
	152～ 225	国家試験課題練習 (207～208 小テスト)	居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う				
	226～ 228	国家試験課題第1・第2 実技テスト					
229～ 242	国家試験課題練習	居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復習を行う					
評価方法	前期・後期末試験実施(実技) 課題に対しての理解度。 授業態度の評価。 成績評価基準⇒S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験			◎	○		70%
	小テスト			◎	○		20%
	宿題・レポート				◎		10%
履修上の注意							

課目名		ヘアテクニック【ヘアカット・シャンプー＆ブロー・美容業界研究】				
課目名(英)		Hair Technique (Hair Cut)				
単位数	2単位	時間数	60時間	担当者	山口薫・江藤登志美・森健太・ 山之口菜摘・遠藤広美	
実施年度	2022年度	実施時期	通年	担当者実務経験	サロンに美容師として勤務	
対象学科・学年		美容科 2年				
授業概要		【カット】・国家試験合格に向けて課題である美容技術の基礎(レイヤーカット)を身に付ける。 【シャンプー＆ブロー】・サイドシャンプー及びバックシャンプーの技術工程を理解し、反復練習を実施することで卒業後の即戦力となり得る技術習得を目指す。また、基本のブローテクニックをモデルに対して練習していく事で、ウィッグでは体感できない 注意点を理解する。 【美容業界研究】・就職活動に必要な企業情報と共に特徴を知り受験対策を考えさせる。起承転結を活用した履歴書作成を行ない早期内定を目指す。就職内定を目指すためのコミュニケーション力向上、美容師国家資格取得に向けての技術力、知識力向上を目指す。				
授業形式		講義： ○	演習：	実習： ○	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
			○			国家試験第一課題(レイヤーカット)を身に付ける事ができる。
			○			頭の形を理解し正確に形として仕上げる事ができる。
		○				道具の使用の仕方、ウィッグの使い方を丁寧に言い衛生面を綺麗に保つことができる。
			○			バックシャンプーの手順を覚え、手技を習得する【シャンプー＆ブロー】
				○		お客様への施術を通して、快感をあたえ、心身のリラクセーション効果を高めるよう配慮できる【シャンプー＆ブロー】
			○			即戦力となるレベルのシャンプー技術を習得する【シャンプー＆ブロー】
			○			ブローのテクニックを実施し、様々なヘアスタイルに対してのスタイリングの工夫ができる【シャンプー＆ブロー】
				○		ブローテクニックを人頭で実施する事で、その注意点やテクニックを理解する【シャンプー＆ブロー】
	○					求人票・WEBからの企業情報を基に受験までのスケジュールリングが出来る。【美容業界研究】
	○					受験にあたり、受験報告書を基に対策を考える事が出来る。【美容業界研究】
		○				起承転結を活用した履歴書作成が出来る。【美容業界研究】
			○			就職内定を目指す。【美容業界研究】
			○			国家資格技術合格レベルを目指す。【美容業界研究】
		○				国家資格筆記合格レベルの知識を理解し説明することができる。
テキスト・教材 参考図書		実習道具 カット道具一式 【カット】 美容技術理論① シャンプー＆ブロー道具一式 【シャンプー＆ブロー】				
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1～2	国家試験第1課題ヘアカッティング（コームの使い方・ブロックングの仕方）【カット】				居残り 反復練習
	3～4	国家試験第2課題ヘアカッティング（ブロックングの仕方・切り方手順）【カット】				居残り 反復練習
	5～6	国家試験第3課題ヘアカッティング（ブロックングの仕方・切り方手順・反復練習）【カット】				居残り 反復練習
	7～8	国家試験第4課題ヘアカッティング（切り方手順・反復練習・スタイルの確認）【カット】				居残り 反復練習
	9～10	国家試験第5課題ヘアカッティング（切り方手順・反復練習・スタイルの確認）【カット】				居残り 反復練習
	11～12	国家試験第6課題ヘアカッティング（スタイルの確認・時間を意識して作業）【カット】				居残り 反復練習
	13～14	国家試験第7課題ヘアカッティング（スタイルの確認・時間を意識して作業）【カット】				居残り 反復練習
	15～16	国家試験第8課題ヘアカッティング（スタイルの確認・タイム追い20分）【カット】				居残り 反復練習
	17～18	国家試験第8課題ヘアカッティング（スタイルの確認・タイム追い20分）【カット】				居残り 反復練習
	19～20	国家試験第8課題ヘアカッティング（タイム追い20分・仕上がり審査）【カット】				
	1	バックシャンプー 手順の確認・復習 【シャンプー＆ブロー】				バックシャンプー の手順を事前に確認しておくこと
	2	ブロースタイリング 相モデルによるハンドブローテクニック 【シャンプー＆ブロー】				ブローの基本技術を事前に復習しておくこと
	3	バックシャンプー プレーンリンスのテクニック 【シャンプー＆ブロー】				ストロークの練習をしておくこと
	4	ブロースタイリング 相モデルによるストレートブローテクニック 【シャンプー＆ブロー】				ブローの基本技術を事前に復習しておくこと
	5	バックシャンプー あわ立てとストロークの大きさ・強弱 【シャンプー＆ブロー】				ストロークの練習をしておくこと
	6	ブロースタイリング 相モデルによるストレートブローテクニック 【シャンプー＆ブロー】				前回の技術を事前に復習しておくこと
	7	バックシャンプー トリートメントテクニック 【シャンプー＆ブロー】				ストロークの練習をしておくこと

技術計画	8	ブロースタイリング 相モデルによる内巻きブローテクニック【シャンプー＆ブロー】	前回の技術を事前に復習しておくこと					
	9	サイドシャンプー 手順の確認・相モデルによる反復練習【シャンプー＆ブロー】	ストロークの練習をしておくこと					
	10	ブロースタイリング 相モデルによる内巻きブローテクニック【シャンプー＆ブロー】	前回の技術を事前に復習しておくこと					
	1	就職に向けて、年間スケジュールの確認 個人目標 健康診断【美容業界研究】						
	2							
	3	教育提携校TONI&GUYについて【美容業界研究】	TONI&GUYについて企業リサーチ					
	4		受験に対する心構え、幹旋規定を再確認					
	5	履歴書説明 受験申込書・証明証関係・受験報告書の活用と説明【美容業界研究】	受験に対する意思表示。必要書類、証明写真の手配					
	6	将来どのような〇〇になるか 文章に起こし共有【美容業界研究】	将来をイメージし、身近なものと認識しておく					
	7	履歴書作成 構成 【美容業界研究】	自分を売り込む為の言い回しを文に起こす					
	8	履歴書作成 下書き 【美容業界研究】	伝えたい部分を明確にし分を組み立てていく					
	9	履歴書作成 添削・清書 【美容業界研究】	起承転結を考え訂正していく 受験に対しての準備を行なう					
	10	夏季休暇前事前学習 長期休暇前の諸注意等 【美容業界研究】						
	11	国家試験 願書書き 【美容業界研究】						
	評価方法	12	国家試験筆記対策 模擬試験【美容業界研究】					
13		国家試験 筆記 事前学習 対策プリントを使用し解答・解説を中心に苦手科目の学習を行なう【美容業界研究】						
14		国家試験 筆記 事前学習 対策プリントを使用し解答・解説を中心に苦手科目の学習を行なう【美容業界研究】						
15		国家試験 筆記 事前学習 対策プリントを使用し解答・解説を中心に苦手科目の学習を行なう【美容業界研究】						
【ヘアカット】(1)小テストを2回実施 (2)課題に対しての理解度。(3)授業態度の評価。 【シャンプー＆ブロー】(1)実技テストを実施する。 【美容業界研究】(1)授業後のレポート提出を行なう。(2)宿題として感想文・レポートを提出を課す場合がある。以上を下記の観点・割合で単位認定をする。成績評価基準⇒S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) ※下記評価の評価割合は時間数に基づくものとする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
小テスト【カット】				◎			20%	
宿題・レポート【カット】					◎		9%	
授業態度【カット】					○		1%	
実技テスト【シャンプー＆ブロー】			○	◎			18%	
授業態度【シャンプー＆ブロー】					◎		2%	
宿題・レポート【美容業界研究】		○					25%	
発表・作品【美容業界研究】					○		25%	
履修上の注意		【ヘアカット】授業開始前に準備を整えておく。 【シャンプー＆ブロー】特段の事情を除いて、授業は休まないでください。授業中の私語は、厳禁です。復習は必須です。 【美容業界研究】 特段の事情を除いて、授業は休まないでください。授業中の私語は、厳禁です。復習は必須です。						

課目名	メイクアップ						
課目名(英)	Makeup						
単位数	1		時間数	30時間		担当者	宮本知亜理
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験	雑誌撮影、ブライダルヘアメイク、ファッションショーバックステージ現場経験
対象学科・学年	美容科 2年						
授業概要	1年生で学んだメイクアップのベーシックテクニックを基に、サロンに就職した際に必要とされる、お客様一人一人に合うイメージに沿ったメイクや、似合うメイクの提案ができる。特殊メイク、ステージメイク等のプロフェッショナルなメイクができるようになる。						
授業形式	講義:		演習:	○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○			机上が清潔で、モデルの扱いが丁寧にできる。	
			○			メイクアップのデザインができる。	
			○			顔の輪郭、パーツの分析ができる。	
			○			モデルの個性に合わせたメイクの提案ができる。	
			○			応用テクニックを理解し、施す事ができる。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1~2~3	1年時復習、メイクアップデザイン				シュウウエムラテキストを読んでおくこと	
	4~5	メイクアップデザイン2ーキュート、クールメイク				シュウウエムラテキストを読んでおくこと	
	6~7	メイクアップデザイン3ーエレガント、フレッシュメイク				シュウウエムラテキストを読んでおくこと	
	8~9	応用メイク～メイク提案(デザイン、似合わせの提案)				雑誌やネットでメイク画像を閲覧しておく	
	10~11	ステージメイクーベースメイク、ポイントメイク				1年次の復習、ヘア&衣装との組み合わせを考える	
	12~13	実技テスト				復習をしておくこと	
	14~15	キャラクターメイク				雑誌やネットでメイク画像を閲覧しておく	
評価方法	(1)授業の中で実施した実技作品を確認する。(2)実技作品のデザイン画を確認する。(3)実技テストを実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技テスト			○			60%
	作品提出			○			15%
	デザイン画提出			○			15%
	作品制作			○	○		10%
履修上の注意							

課目名	デザイン【デッサン・ファッション】										
課目名(英)											
単位数	1		時間数	30		担当者	松尾恭子/岡田 絵梨奈				
実施年度	2022		実施時期	前期		担当者実務経験	美術専門講師29年・麻生塾系列校担当15年 香蘭女子短期大学ファッション総合学科教授				
対象学科・学年	美容科2年										
授業概要	【デッサン】線の基本的要素から始まり、明暗・陰影の現象を再認識することで、形とボリュームの捉え方を学び、また、色彩学の基礎を理解させることで美容業のカラー、メイクアップとの関連付けができ、より深い知識が備わる。デッサンを通して美を追求する力と感性を育む。それらは就職しその後の成長時に大きく寄与する。鉛筆を用いて線描＞優美な線の表現を身につける、濃淡による陰影表現＞眼で得る情報を分析し再構築して画面に表現する。視る力を育てる目的。絵具と筆を用いて色彩効果を学習し、人物が備える色彩を混色で的確に表出する。色彩が量感、空気感をも表現することを各々感得することを目指す。 【ファッション】ヘアメイクとファッションの相互作用を学び、表現力の向上を目指します。また、ファッショントレンドや演出方法など、多方面からのアプローチによる企画力や編集のプロセスや、コンテストやショーでも活用できる総合的なコーディネートスキルを習得します。										
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		実技:	○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
			○			形体の構造、陰影、立体感を表現できる【デッサン】					
			○			角度と奥行ききの把握、空間の意識ができる【デッサン】					
			○			顔と頭部の比率、骨格による陰影を表現できる【デッサン】					
			○			画材によるグレイスケールの表現で色彩の明度感覚を描写できる【デッサン】					
	○	○				トレンドを常に把握し、実践に取り入れられる【ファッション】					
		○				ヘア、メイク、ファッションを総合的に捉え、創造できるようになる【ファッション】					
		○				企画、演出、構成、音楽、照明全てを連動して考えることができるようになる【ファッション】					
	○	○				顧客の特徴を素早く捉え、似合うスタイルの提案ができるようになる【ファッション】					
		○				職場の具体的なディスプレイにも関心を持ち、自らディスプレイ演出ができるようになる【ファッション】					
テキスト・教材 参考図書	必要に応じてA4印刷物、A4画用紙を配付。デッサン道具一式。【デッサン】 参考資料は配布します【ファッション】										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	道具の説明、線、塗り、立体感の出し方(立方体・円柱・球)【デッサン】					演習する配付物、制作する作品を丁寧に期日までに仕上げる。				
	2	人体の立体感の出し方(演習)【デッサン】					演習する配付物、制作する作品を丁寧に期日までに仕上げる。				
	3	人物モデルデッサン【デッサン】					演習する配付物、制作する作品を丁寧に期日までに仕上げる。				
	4	人物モデルデッサン【デッサン】					演習する配付物、制作する作品を丁寧に期日までに仕上げる。				
	5	ヘアモデルイラストレーション【デッサン】					演習する配付物、制作する作品を丁寧に期日までに仕上げる。				
	6	ヘアモデルイラストレーション【デッサン】					演習する配付物、制作する作品を丁寧に期日までに仕上げる。				
	7	ヘアモデルイラストレーション【デッサン】					演習する配付物、制作する作品を丁寧に期日までに仕上げる。				
	8	人物デッサン【デッサン】					演習する配付物、制作する作品を丁寧に期日までに仕上げる。				
	1	ファッショントレンド情報【ファッション】					トレンド情報をまとめる				
	2	デザインとディスプレイ【ファッション】					ディスプレイのリサーチ(課題)と発表準備				
	3	ファッショントレンドのまとめ【ファッション】					ディスプレイとデザインの発表				
	4	ヘアメイクとファッションの構成【ファッション】					課題プリントの実施				
	5	コーディネートテクニック【ファッション】					テーマにあわせたコーディネートを企画する				
6	企画と演出Ⅰ【ファッション】					ショーや動画をリサーチし、まとめる					
7	企画と演出Ⅱ【ファッション】					企画書の作成					
8	企画と演出Ⅲ【ファッション】					企画書の発表					
【デッサン】(1)各回で演習する配付物、制作する作品を丁寧に仕上げる。(2)提出日時に提出する。(3)態度・意欲に関しては、作品の完成度・観察力・技量・集中力・思考力によって評価する。下記の観点・割合で評価する。 【ファッション】(1)授業の中で作品提出をおこなう。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 ※下記評価の評価割合は時間数に基づくものとする。											

評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題提出【デッサン】			◎	○		50%
	発表・作品【ファッション】	○	○	○	○	○	50%
履修上の注意	【デッサン】提出物(毎回×切)+無遅刻無欠席 【ファッション】課題では、切り取りできるファッション雑誌やライフスタイルマガジンの準備が必要です。						

課目名	選択ヘアデザイナーコース									
課目名(英)										
単位数	4単位	時間数	120時間	担当者	①鈴木 優希(他7名)②藤野 善友					
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	①TAYAクリエイティブチーム所属 ②ヘアサロンにてスタイリストとして勤務					
対象学科・学年	2年生選択授業ヘアスタイリストコース									
授業概要	【TAYA テクニカルカットセミナー】 ベーシックの流れを汲みつつ、トレンドを含んだサロンでの提案デザインのカットテクニックの講義です。 実際の現場に立つデザイナーで撮影やヘアショー、セミナーを担当しているクリエイティブチームのデザイナーが担当します。 その他、生徒様がサロンに勤務した際に直接役に立つシャンプーやブローのベーシックやヘアアレンジの授業も行います。 【カット&ブロー】頭の骨格を理解し、スタイルに合わせた技術ができ、自分たちで考えヘアスタイルを創れるようになる。									
授業形式	講義:	○	演習:	○	実習:	○	実技:	○	※ 主たる方法:○	その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
	○					ヘアデザインをイメージする際の理論、デザイン構成の知識を得る事が出来ます。				
		○				カットデザインを構成する為に必要な方法論をお伝えします。				
			○			パネルの引き出し等、狙った通りにデザインをする為のカット技術をお伝えします。				
			○			シャンプーとブロー技術に関してはベーシックな地力を付ける為の授業を行います。				
				○		ヘアアレンジを通してのデザインする楽しさ、美容そのものの楽しさを伝えます。				
		○				骨格を理解する				
			○			ヘアスタイルに合わせた、技術ができるようになる。				
			○			提示したヘアスタイルを切れるようになる。				
		○				展開図を書けるようになる。				
			○			ヘアスタイルに合わせたスタイリングができるようになる。				
テキスト・教材 参考図書	【TAYA テクニカルカットセミナー】TAYAの年間ニューモードや季節のトレンドデザインのビジュアルをお持ちします。【カット &ブロー】カット道具一式、ノート、必要に応じてA4プリント、スタイル写真を配布。									
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示				
	1	ロングレイヤー(頭の丸みとパネルの引き出し、角度を学ぶ。) 【TAYA テクニカルカットセミナー】				シザーワークが久々の生徒様はシザーの開閉等を 復習してカット受講の準備をしておいて下さい。				
	2	前回の続き【TAYA テクニカルカットセミナー】				前回の続きになるのでカット工程やこれまでの流れ を再度、イメージトレーニングをしておいて下さい。				
	3	実践で使えるヘアアレンジ(デザインのバランスを考える。) 【TAYA テクニカルカットセミナー】				アレンジのレッスンになるので慣れていない生徒様 はヘアアイロンの使い方を予習しておいて下さい。				
	4	ボブスタイル(オーダーが多いリアルモードを学ぶ。) 【TAYA テクニカルカットセミナー】				前回のデザインの技術テストを行いますので 復習をしておいて下さい。				
	5	前回の続き【TAYA テクニカルカットセミナー】				前回の続きになるのでカット工程やこれまでの流れ を再度、イメージトレーニングをしておいて下さい。				
	6	レイヤーブロー講義とシャンプー技術 【TAYA テクニカルカットセミナー】				ブローはベーシックになりますので必要な道具を 揃えておいて下さい。				
	7	メンズカット(ショートスタイルの基本) 【TAYA テクニカルカットセミナー】				前回のデザインの技術テストを行いますので 復習をしておいて下さい。				
	8	メンズカット(刈り上げの基本も含む) 【TAYA テクニカルカットセミナー】				前回の続きになるのでカット工程やこれまでの流れ を再度、イメージトレーニングをしておいて下さい。				
	9	ヘアセット(面構成のバランスを考える。) 【TAYA テクニカルカットセミナー】				テクニカルなセットになりますので繰り返しの 復習をしてテクニックを習得して下さい。				
	10	ショートスタイル(毛先のシャープさとメリハリの技術を学ぶ。) 【TAYA テクニカルカットセミナー】				前回のメンズカットのテストは行いませんが 自主的な復習をしておいて下さい。				
	11	前回の続き【TAYA テクニカルカットセミナー】				前回の続きになるのでカット工程やこれまでの流れ を再度、イメージトレーニングをしておいて下さい。				
	12	実践で使えるヘアアレンジ(ナチュラルデザイン) 【TAYA テクニカルカットセミナー】				編み込みやゴムの使い方等、慣れない技術は 復習をお願いします。				
	13	ブロー応用テクニック・シャンプー技術ベーシック 【TAYA テクニカルカットセミナー】				ブローは毛流れ等を付ける技術をしますので 前回の基本テクニックを復習しておいて下さい。				
	14	TAYAニューモード(コンテスト形式で行う。) 【TAYA テクニカルカットセミナー】				前回のデザインの技術テストを行いますので 復習をしておいて下さい。				
	15	前回の続き【TAYA テクニカルカットセミナー】				前回の続きになるのでカット工程やこれまでの流れ を再度、イメージトレーニングをしておいて下さい。				
	1	オリエンテーション【カット&ブロー】								
	2	骨格学【カット&ブロー】				配布したプリント及びノートを読み返しておくこと。				
	3	骨格学II【カット&ブロー】				配布したプリント及びノートを読み返しておくこと。				
	4	スタイル作成1【カット&ブロー】				配布したプリント及びノートを読み返しておくこと。				
	5	スタイル作成2【カット&ブロー】				配布したプリント及びノートを読み返しておくこと。				
	6	スタイル作成3【カット&ブロー】				配布したプリント及びノートを読み返しておくこと。				

	7	スタイル作成4【カット＆ブロー】	配布したプリント及びノートを読み返しておくこと。				
	8	スタイル作成5【カット＆ブロー】	配布したプリント及びノートを読み返しておくこと。				
	9	スタイル作成6【カット＆ブロー】	配布したプリント及びノートを読み返しておくこと。				
	10	スタイル作成7【カット＆ブロー】	配布したプリント及びノートを読み返しておくこと。				
	11	スタイル作成8【カット＆ブロー】	配布したプリント及びノートを読み返しておくこと。				
	12	スタイル作成9【カット＆ブロー】	配布したプリント及びノートを読み返しておくこと。				
	13	小テスト【カット＆ブロー】	配布したプリント及びノートを読み返しておくこと。				
	14	ヘアスタイル創作【カット＆ブロー】	配布したプリント及びノートを読み返しておくこと。				
	15	ヘアスタイル創作【カット＆ブロー】	配布したプリント及びノートを読み返しておくこと。				
評価方法	【TAYA テクニカルカットセミナー】(1)授業の中で前回受講デザインのテストを3回実施します。 (2)授業への参加状況(実技時の参加意欲も含みます)。以上を下記の観点・割合で評価させて頂きます。 【カット＆ブロー】(1)授業の中で小テスト・実技テストを実施します。(2)授業の中で作品の発表をおこなってもらいます。 以上を下記の観点・割合で評価させて頂きます。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とします。※下記評価の評価割合は時間数に基づくものとする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験 【TAYA テクニカルカットセミナー】		◎	◎			35%
	当日習った作品の仕上がり 【TAYA テクニカルカットセミナー】		◎	◎			21%
	授業態度(意欲) 【TAYA テクニカルカットセミナー】				◎		14%
	定期試験【カット＆ブロー】				○		9%
	小テスト【カット＆ブロー】		○				6%
	発表・作品【カット＆ブロー】		○	○	○		15%
	履修上の注意	【TAYA テクニカルカットセミナー】一定の理解度、出席率がある生徒様に対して、卒業のディプロマを進呈致します。【カット＆ブロー】特になし					

課目名	選択ヘアメイクアップアーティストコース				
課目名(英)	Hair make-up artist course【Hair Arrange・photo】				
単位数	4単位	時間数	120時間	担当者	①森 建太・山之口 菜摘 ②宮本 知亜理
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	①美容室にて美容師として勤務 ②雑誌撮影、ブライダルヘアメイク、ファッションショーバックス テージ現場経験
対象学科・学年	美容科2年次				
授業概要	【ヘアアレンジ・フォト】ヘアメイクアップアーティストに必要なスタイルづくりの基本となるヘアアレンジ技術、サロンワークで提供するリアルヘア、そのクオリティを上げるためのクリエイティブワークを幅広く学び、ウィッグやモデル作品制作を实践する。また、フォトシューティングの現場を通してヘアメイクアップアーティストの職業の魅力を体感する。 【メイク】サロンに就職した際に必要とされる、お客様一人一人に合うイメージに沿ったメイクや、似合うメイクの提案ができる。和装メイクやブライダルメイク、ステージメイク等のプロフェッショナルなメイクができるようになる。				
授業形式	講義：		演習：	実習：	実技： ※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
			○		目標
			○		ヘアラインの構造を支えるついでで穴かせない「結ぶ」テクニックと「留める」テクニックを習得する【ヘアアレンジ・フォト】
			○		一束を使ったクリエイティブデザインを習得する【ヘアアレンジ・フォト】
			○		編み込みのデザインを幅広く学び、習得する【ヘアアレンジ・フォト】
			○		カールを使用したデザインを習得する【ヘアアレンジ・フォト】
			○		クリエイティブ作品を効果的に見せるカラーリングを学び、作品制作で実践する【ヘアアレンジ・フォト】
			○		コンテスト作品をテーマに沿って考え、自分でデザインして形に出来る【ヘアアレンジ・フォト】
				○	フォトシューティングの現場を体感して、現場での注意点や動きなどに気付き理解する【ヘアアレンジ・フォト】
			○		机上が清潔で、モデルの扱いが丁寧にできる。【メイク】
			○		メイクアップのデザインができる。【メイク】
			○		顔の輪郭、パーツの分析ができる。【メイク】
テキスト・教材 参考図書	【ヘアアレンジ・フォト】アレンジ道具一式				
	【メイク】メイク道具一式				
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	フォトシューティングAADCコラボ概要説明【ヘアアレンジ・フォト】			様々なフォト作品を見ておく事
	2	フォトシューティングAADCコラボ分析・傾向対策【ヘアアレンジ・フォト】			様々なフォト作品を見ておく事
	3	フォトシューティングAADCコラボ撮影・補正のデモンストレーション【ヘアアレンジ・フォト】			様々なフォト作品を見ておく事
	4	フォトシューティング企画書作成【ヘアアレンジ・フォト】			フォトシューティングモデルハントの実施とデザインの考案を進めておく事
	5	結ぶテクニック 一束アレンジ【ヘアアレンジ・フォト】			ヘアアレンジ道具の準備と手入れをしておく事
	6	留めるテクニック 後頭部にボリュームを出すシニョン【ヘアアレンジ・フォト】			ヘアアレンジ道具の準備と手入れをしておく事
	7	結ぶ留めるのコンビネーション【ヘアアレンジ・フォト】			ヘアアレンジ道具の準備と手入れをしておく事
	8	カールを使用したデザイン【ヘアアレンジ・フォト】			ヘアアレンジ道具の準備と手入れをしておく事
	9	カールを使用したデザイン【ヘアアレンジ・フォト】			ヘアアレンジ道具の準備と手入れをしておく事
	10	フォトシューティングデザイン再検討・撮影打ち合わせ【ヘアアレンジ・フォト】			フォトシューティングの企画書を完成させておく事
	11	フォトシューティングデザイン再検討・撮影打ち合わせ【ヘアアレンジ・フォト】			フォトシューティングの企画書を完成させておく事
	12	フォトシューティングデザイン再検討・撮影打ち合わせ【ヘアアレンジ・フォト】			フォトシューティングの企画書を完成させておく事
	13	フォトシューティング準備【ヘアアレンジ・フォト】			フォトシューティングスタイルの練習をしておく事
	14	フォトシューティング撮影【ヘアアレンジ・フォト】			フォトシューティングスタイルの練習をしておく事
	15	フォトシューティング補正作業【ヘアアレンジ・フォト】			フォトシューティングスタイルの練習をしておく事
	16	編み込みのデザイン【ヘアアレンジ・フォト】			ヘアアレンジ道具の準備と手入れをしておく事
	17	編み込みのデザイン【ヘアアレンジ・フォト】			ヘアアレンジ道具の準備と手入れをしておく事
	18	アンデューレートな質感を持つクリエイティブスタイル【ヘアアレンジ・フォト】			ヘアアレンジ道具の準備と手入れをしておく事
	19	アレンジ作品企画書作成【ヘアアレンジ・フォト】			デザインの考案を進めておくこと

授業計画	20	アレンジ作品 小テスト【ヘアアレンジ・フォト】	小テストの練習をしておく事					
	21	クリエイティブウィッグ企画書作成【ヘアアレンジ・フォト】	デザインの考案を進めておくこと					
	22	フォトシューティング第一回目作品プレゼン【ヘアアレンジ・フォト】	次回のフォトシューティングモデルハントの実施とデザインの考案を進めておく事					
	23	フォトシューティング第一回目作品プレゼン【ヘアアレンジ・フォト】	次回のフォトシューティングモデルハントの実施とデザインの考案を進めておく事					
	24	フォトシューティング第一回目作品プレゼン【ヘアアレンジ・フォト】	次回のフォトシューティングモデルハントの実施とデザインの考案を進めておく事					
	25	フォトシューティングデザイン再検討・撮影打ち合わせ【ヘアアレンジ・フォト】	フォトシューティングの企画書を完成させておく事					
	26	フォトシューティングデザイン再検討・撮影打ち合わせ【ヘアアレンジ・フォト】	フォトシューティングの企画書を完成させておく事					
	27	フォトシューティングデザイン再検討・撮影打ち合わせ【ヘアアレンジ・フォト】	フォトシューティングの企画書を完成させておく事					
	28	フォトシューティング準備【ヘアアレンジ・フォト】	フォトシューティングスタイルの練習をしておく事					
	29	フォトシューティング撮影【ヘアアレンジ・フォト】	フォトシューティングスタイルの練習をしておく事					
	30	フォトシューティング補正作業【ヘアアレンジ・フォト】	フォトシューティングスタイルの練習をしておく事					
	31	クリエイティブウィッグ作品制作【ヘアアレンジ・フォト】	作品のデザインシートを完成させておく事					
	32	クリエイティブウィッグ作品制作【ヘアアレンジ・フォト】	作品のデザインシートを完成させておく事					
	33	クリエイティブウィッグ作品制作【ヘアアレンジ・フォト】	作品のデザインシートを完成させておく事					
	34	クリエイティブウィッグ作品制作【ヘアアレンジ・フォト】	作品のデザインシートを完成させておく事					
	35	クリエイティブウィッグ作品制作【ヘアアレンジ・フォト】	作品のデザインシートを完成させておく事					
	36	クリエイティブウィッグ作品制作【ヘアアレンジ・フォト】	作品のデザインシートを完成させておく事					
	37	クリエイティブウィッグ作品制作【ヘアアレンジ・フォト】	作品のデザインシートを完成させておく事					
	38	クリエイティブウィッグ作品制作【ヘアアレンジ・フォト】	作品のデザインシートを完成させておく事					
	39	クリエイティブウィッグ作品制作【実技テスト】【ヘアアレンジ・フォト】	作品のデザインシートを完成させておく事					
	1-2 ~3	カラーメイク(カラーアソート)【メイク】	雑誌等でトレンドメイクを見ておくこと					
	4-5 ~6	ブライダルメイク【メイク】	雑誌等でブライダルメイクを見ておくこと					
	7-8 ~9	特殊メイク【メイク】	ネットや雑誌等で特殊メイクを見ておくこと					
	10-11 ~12	和装メイク【メイク】	雑誌等で和装メイクを見ておくこと					
	13-14 ~15	トレンドメイク【メイク】	雑誌等でトレンドメイクを見ておくこと					
	16-17 ~18	作品制作【メイク】	雑誌等でトレンドメイクを見ておくこと					
	19-20 ~21	実技テスト【メイク】	復習をしておくこと					
	評価方法	【ヘアアレンジ・フォト】(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)宿題・企画書を数回実施する。(3)実技テストを実施する。(4)作品制作・発表を数回実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 【メイク】(1)授業の中で実施した実技作品を確認する。(2)実技作品のデザイン画を確認する。(3)実技テストを実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 ※下記評価の評価割合は時間数に基づくものとする。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		定期試験			◎	○		30%
		小テスト			◎	○		6%
		宿題・レポート				○		6%
		発表・作品			◎	○		18%
		実技テスト			○			28%
		作品提出			○			6%
		デザイン画提出			○			6%
	履修上の注意	【ヘアアレンジ・フォト】特になし 【メイク】出席が4/5に満たない場合は実技試験の受験資格を与えない。						

課目名		選択ブライダルスタイリストコース				
課目名(英)		Bridal stylist course (Bridal make)				
単位数	4単位		時間数	120時間	担当者	①⑥重松愛子②資生堂美容室講師陣 ③吉田理恵子④東 まゆみ⑤中村 直輝
実施年度	2022年度		実施時期	前期	担当者実務経験	①⑥雑誌、広告関係、ファッションショーバックステージ、ブライダル現場経験②サロンに美容師として勤務③美容師歴30年④専門式場フラワーコーディネーターとして勤務⑤専門式場:ウエディングプランナー(8年)ドレスショップマネージャー(2年)
対象学科・学年		美容科 2年				
授業概要		【ブライダルメイク】 ブライダル業界の知識やホテルや結婚式の知識、ドレスや着物の知識など、より専門的に学ぶ。また、結婚式のタイムスケジュールの把握・高い接客力も求められる為、メイク技術の他、業界知識なども取り入れながら 実践的に学び知識習得することを目指す。 【セットアップ】 ブライダルセット、ブライダル知識、フィッティング(ドレス知識)について学び、婚礼という晴れの日の門出をサポートする仕事を技術・知識・マナーを通して身につける。 【着付け】 美容師として、サロンワークとは異なるブライダル着付け技術習得を目指す。 【フラワーアレンジ】 生花の花の取り扱いを学び、実際にヘッドコサージュとして使用するときにどのような花を使用するのがよいか知る。結婚式における衣装に合わせた新婦のヘアコサージュ、ブーケの形を学び、実際に作成する。他の科目とリンクしながら、髪型に合わせたヘッドコサージュのつけ方を学ぶ。 【ブライダル接遇】 実際の結婚式での打合せの流れや関わるスタッフ全般を知る事で、ブライダル業界での美容師及び着付けスタッフの仕事内容や環境の理解を深める。また実際に現場で起きているお客様とのトラブルやクレームなどの実例を知る事で美容スタッフとしての心構えや対処法などを学び就職後に生かす。 【ボディジュエル】 ブライダルやイベント、パーティーシーン、成人式等で華やかな演出ができ、デザイン提案～施術迄が出来るようになる。				
授業形式		講義:		演習: ○	実習: ○	実技: ○ ※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
			○			決められた時間内にフルメイクを仕上げるができる。【ブライダルメイク】
			○			衣装チェンジに合わせたポイントメイクチェンジができる。【ブライダルメイク】
	△					ブライダルメイクカウンセリングにおいてヒアリングが必要な事項を述べるができる【ブライダルメイク】
			○			アイロンやカーラー等器具を用いて思い通りの表現をすることができる。【セットアップ】
			○			ウィッグを用いブライダルの場にふさわしいヘアスタイルを作ることができる。【セットアップ】
		△				ブライダルについての知識・マナーを習得しおもてなしの心を身につけることができる。【セットアップ】
		○	○			体型に合わせた、補正を行うことができる【着付け】
		○	○			振袖の着付け、帯結びができる【着付け】
		○	○			モデルの雰囲気に合わせてトータルコーディネイトができる【着付け】
	○					生花の取り扱い方、水揚げができる【フラワーアレンジ】
		○				花の取り扱いを学び、花に合わせたヘッドコサージュの形、ラウンドブーケの特徴がわかる【フラワーアレンジ】
			○			ラウンドブーケの作り方を学び、巻き上げ、4ループリボン作成ができる【フラワーアレンジ】
			○			ブーケと同じ花材を使用し、髪型に合わせたヘッド装花を作成できる【フラワーアレンジ】
				○		丁寧な花の取り扱いができ、作品を完成させることができる【フラワーアレンジ】
	○					ブライダルの知識を深め、挙式・披露宴における美容師の役割を知る。【ブライダル接遇】
	○	○				ウエディングプランナーとの式までの準備の流れを把握する。【ブライダル接遇】
		○				式場におけるお客様と美容師のトラブルなどの実例を知る。【ブライダル接遇】
			○			花・蝶・リボン・ハートの様々なデザインを基本に制作することが出来る。【ボディジュエル】
			○			ウエディング、パーティ、成人式等のイベントに限らず、日常・非日常のどのようなシーンでも使用できるボディジュエリー”テクニックを身に着ける【ボディジュエル】
			○			道具の手入れ、片づけなど積極的に取り組むことが出来る【ボディジュエル】
テキスト・教材 参考図書		【ブライダルメイク】日本理美容教育センター 美容技術理論Ⅱ ・日本理美容教育センター 美容実習Ⅱ・リクルートホールディングス 月刊セクシィ【セットアップ】セットアップ道具一式 セットアップ用モデルウィッグ 【着付け】日本理美容教育センター 美容技術理論Ⅱ 【フラワーアレンジ】生花・ワイヤー・フローラルテープ・ブーケホルダー・リボン 【ブライ ダル接遇】:BIA 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 ブライダルコーディネーターテキスト 【ボディジュエル】ボディジュエリーデザイン画ボディジュエリー教材一式(シート、鉛筆、 アート筆、ラメパウダー、グルー、アセトン、コットン、ビニール)				
	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	ウエディングドレスメイクのデモンストレーション ―ブライダルメイクと一般的なメ イクの違い【ブライダルメイク】				ウエディング雑誌(参考書)チェック
	2	ウエディングドレスメイク相モデル実習 ブライダルメイクの特徴を取り入れ仕上 げる【ブライダルメイク】				ウエディング雑誌(参考書)チェック
	3	ウエディングドレスメイク相モデル実習 ブライダルメイクの特徴を取り入れ仕上 げる【ブライダルメイク】				ウエディング雑誌(参考書)チェック
	4	ウエディングドレスメイク相モデル実習 首周り、耳たぶ、デコルテ、腕などの処理 含む【ブライダルメイク】				ウエディング雑誌(参考書)チェック
	5	ウエディングドレスメイク相モデル実習 首周り、耳たぶ、デコルテ、腕などの処理 含む【ブライダルメイク】				ウエディング雑誌(参考書)チェック
	6	ウエディングドレスメイク相モデル実習 【ブライダルメイク】				ウエディング雑誌(参考書)チェック
	7	ウエディングドレスメイク相モデル実習 【ブライダルメイク】				ウエディング雑誌(参考書)チェック
	8	カクテルドレスメイクのデモンストレーション ―ウエディングメイクとカクテルメイク の違い【ブライダルメイク】				ウエディング雑誌(参考書)チェック
	9	カクテルドレスメイク相モデル実習 ―ウエディングメイク→ポイントメイクチェンジ の方法 【ブライダルメイク】				ウエディング雑誌(参考書)チェック

授業計画	10	カクテルドレスメイク相モデル実習　ーウェディングメイクーポイントメイクチェンジの方法【ブライダルメイク】	ウェディング雑誌(参考書)チェック				
	11	カクテルドレスメイク相モデル実習　ーウェディングメイクーポイントメイクチェンジの方法【ブライダルメイク】	ウェディング雑誌(参考書)チェック				
	12	カクテルドレスメイク相モデル実習　ーウェディングメイクーポイントメイクチェンジの方法【ブライダルメイク】	ウェディング雑誌(参考書)チェック				
	13	企画書作成【ブライダルメイク】	実技テストを実施するため授業内容の復習				
	14	企画書作成【ブライダルメイク】	実技テストを実施するため授業内容の復習				
	15・16	ブライダルヘア・メイク作品制作　ー自由制作【ブライダルメイク】	作品制作についての準備				
	17・18	ウェディングドレスメイクーカクテルドレスメイク　実技テスト(50分)【ブライダルメイク】	制限時間内に仕上げる				
	1～3	講義(ブライダル知識)、実習(カーラー巻)、実習(アイロン巻)【セットアップ】					
	4～6	実習(ストレートアイロン巻)、実習(ピン、ゴム、逆毛)、実習(和装デモスト・着付)【セットアップ】	前回授業内容の復習				
	7～9	実習(和装スタイル)【セットアップ】	前回授業内容の復習				
	10～12	実習(洋装ヘア・フィッティング)、実習(洋装スタイル2点)【セットアップ】	前回授業内容の復習				
	13～15	実習(3人1組で作品作り)【セットアップ】	前回授業内容の復習				
	16～18	実習(ウィッグ作品作り2点)、洋装作品展示【セットアップ】	前回授業内容の復習				
	1	補正と着付準備－補正道具の作り方、着付けに必要な道具の名称と準備【着付け】	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	2	補正と着付準備－着付準備の仕方、補正の仕方、長襦袢の着付け【着付け】	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	3	補正と着付準備－長襦袢・着物のたたみ方、片付け方【着付け】	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	4	振袖着付け－長襦袢の着付け復習、振袖着付け【着付け】	前回の授業の復習をしておくこと				
	5	振袖着付け－振袖着付け、長襦袢・着物のたたみ方、片付け方復習【着付け】	前回の授業の復習をしておくこと				
	6	振袖着付け－振袖着付け復習【着付け】	前回の授業の復習をしておくこと				
	7	振袖着付け－振袖着付け復習【着付け】	前回の授業の復習をしておくこと				
	8	振袖着付け－振袖着付け復習・帯結び【着付け】	前回の授業の復習をしておくこと				
	9	振袖着付け－振袖着付け復習・帯結び【着付け】	前回の授業の復習をしておくこと				
	10	前期の復習－長襦袢の着付け復習、振袖着付け復習【着付け】	前回の授業の復習をしておくこと				
	11	前期の復習－長襦袢の着付け復習、振袖着付け復習【着付け】	実技テストの練習をしておくこと				
	12	振袖着付け実技テスト【着付け】	実技テスト				
	13	振袖着付け実技テスト【着付け】	実技テスト				
	14	振袖着付け実技テスト【着付け】	実技テスト				
	15	振袖着付け筆記テスト【着付け】	筆記テスト				
	1	花の特徴を知り、水揚げのやり方を学ぶ【フラワーアレンジ】	旬の花をフラワーショップの店頭で見ておくこと				
	2	ヘッドコサージュのワイヤー、巻き上げ、綿の巻き方を学び、ヘアスタイルに合ったヘアコサージュを作る【フラワーアレンジ】	新婦のヘアスタイルを考えておくこと				
	3	ラウンドブーケの作り方を学び作成し、仕上げのリボン巻き上げ、4ループリボンを作れるようになる【フラワーアレンジ】	ブーケの本や写真を見て、自分の好きなブーケを見つける				
	1	結婚式の基礎知識・美容師の仕事内容【ブライダル接遇】					
	2	結婚式場・ドレスショップでの打合せ及びトラブル実例と対処法【ブライダル接遇】					
	3	結婚式場及びドレスショップ見学(現役スタッフの講話有)【ブライダル接遇】					
	1・2	相モデル　ポディジュエリーとは、ポディジュエリーのニーズ、教材説明。 花のデザインを転写～グルー塗布～ラメパウダーで仕上げる【ポディジュエル】	道具の手入れを確実に行う 特にブラシについたグルーの手入れを入念に行う				
	3・4	相モデル　簡単な花と蝶を転写～グルーとラメパウダーの使い方。グラデーションに挑戦(花弁制作)・片付け方　※ウッドスティックの使い方【ポディジュエル】	道具の手入れを確実に行う 特にブラシについたグルーの手入れを入念に行う				
	5・6	相モデル(ドール使用併用)　ブライダル用ポディジュエリー　ウェディングドレスに合わせた白を基調とした花の制作①　※実技テスト【ポディジュエル】	道具の手入れを確実に行う 特にブラシについたグルーの手入れを入念に行う				
	【ブライダルメイク】(1)授業最終日に実技テスト実施。(2)ヘアメイク作品制作。(3)企画書作成【セットアップ】(1)授業の中で小テストを行う。(2)授業の中で実施した実技作品を確認する。 【着付け】①授業中で実技テストを実施する。②毎時間ごとの作品作りを実施する。 【フラワーアレンジ】(1)花の水揚げ方法ができているかチェックする。(2)ヘッドコサージュの巻き方ができているかチェックする。(3)ブーケの手順がマスターできているかチェックする。(4)ブーケ、ヘッドコサージュの完成度合いをチェックする 【ブライダル接遇】(1)宿題・レポートを実施する。(2)小テストを実施 【ポディジュエル】(1)実技テストを実施する。(2)授業の中で実施した実技作品を確認する。(3)実技の所作・道具の手入れを確認する。 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は　S(90点以上)　A(80点以上)　B(70点以上)　C(60点以上)　D(59点以下)とする。 ※下記評価の評価割合は時間数に基づくものとする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技テスト・作品制作 【ブライダルメイク】			○	○		24%
	企画書【ブライダルメイク】		○	○	○		6%

評価方法	小テスト【セットアップ】		○			6%
	発表・作品【セットアップ】			◎		24%
	発表・作品【着付け】		○	○	◎	13%
	実技テスト【着付け】		○	○	◎	12%
	定期試験【フラワーアレンジ】			◎	○	5%
	宿題・レポート【ブライダル接遇】	○	◎		○	2%
	小テスト【ブライダル接遇】	◎				3%
	実技テスト・作品制作 【ボディジュエル】			○	○	4%
	道具の取り扱い 【ボディジュエル】			○	○	1%
履修上の注意	【ブライダルメイク】特段の事情を除いて、授業は休まないでください。授業中の私語は、厳禁です。復習は必須です。 【セットアップ】特になし【着付け】特になし【フラワーアレンジ】特になし【ブライダル接遇】特になし 【ボディジュエル】欠席不可。欠席の場合、0点。					

課目名	選択メイク・ネイル・アイコース										
課目名(英)	make up										
単位数	4単位		時間数	120時間		担当者	①重松愛子 ②林 理沙③江藤 登志美				
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験	①JMA認定講師資格取得 ②ネイルサロンにてネイリストとして勤務③美容師として勤務				
対象学科・学年	美容科 2年次										
授業概要	【メイク】 JMAメイクアップ技術検定試験3級100%合格を目指す。1年次で学んだメイク技術の基礎を基に新たにJMA日本メイクアップ技術検定3級の手技を学び、就職後の即戦力となる技術を身につける。 【ネイル】 1年次に習得した基礎技術に加え、イクステンション(人工爪)技術を学ぶ。美しいフォルムを造形するイクステンション技術は如実に技量が出てしまう為、根気強く向き合い練習していくことが重要である。この授業ではアクリルなどの化学物質で造形するイクステンション技術を習得し、ネイル検定2級合格を目指す。無駄のないアプリケーションと造形美を意識したフォルムで、感覚ではなく計算した技術力を身に付ける。また、協力してくれるモデルへの感謝心を言葉や態度で表し、手の扱い方と細かな声掛けを行い、気持ちを伝え丁寧な所作を身に付ける。 【アイリスト】 厚生労働省指導教育プログラムに基づいた内容で(衛生管理・カウンセリング・保健・技術・用具類)美容学生が正しい知識を持って卒業し業界を担っていく学生を育成していく。										
授業形式	講義:	○	演習:	○	実習:	○	実技:	○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
			○			JMA技術検定試験3級の準備が10分で出来る。					
			○			JMA技術検定試験3級の工程が30分で出来る。					
			○			常に身の回りの環境を整え、モデルへの配慮が出来る。					
	○	○				爪の病気とトラブルについて知った上で、対策方法を3つ以上説明できる					
	○	○	○			自爪の長さ、形を理解し、無理のない人工爪を作る技術を身に付ける					
		○	○			時間を意識したお手入れとアートを含めた施術ができる					
			○			サロンで人気のあるデザインを情報収集し、チップや自爪に表現することが出来る					
		○				安全に正確に装着できようになる					
		○				商材学・カウンセリング学・衛生管理・目の感染症に関して理解して作業を行することができる					
テキスト・教材 参考図書			○			安全に装着できるような姿勢・用具類の取り扱いを理解することができる					
				○		危険なものを取り扱っていることを認識し周りに配慮することができる					
	【メイク】 日本メイクアップ技術検定試験公式テキスト 2・3級 【ネイル】 JNAテクニカルシステムベーシック・JNAテクニカルシステム アドバンス編・JNAネイティフル 【アイリスト】 公益財団法人 日本理容美容教育センター発行 まつ毛イクステンション										
	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	・教材配布と検定試験説明 JMAについて、公式テキストP1～P7 ・JMA日本メイクアップ技術検定3級実技 ・テーブルセッティング説明 ～実技(相モデル) P54～58【メイク】					準備物:メイク道具一式				
	2	・JMA日本メイクアップ技術検定3級内容 ・テーブルセッティング 10分 ・ポイントクレンジング P65～72 ・クレンジング P73～78【メイク】					準備物:メイク道具一式				
	3	・JMA日本メイクアップ技術検定3級内容 ・テーブルセッティング 10分 ・ポイントクレンジング 5分 ・クレンジング～スキンケア P79～90【メイク】					準備物:メイク道具一式				
	4	・JMA日本メイクアップ技術検定3級内容 ・テーブルセッティング10分 ・クレンジング～スキンケア 10分 ・ベースメイクアップP95～110【メイク】					準備物:メイク道具一式				
	5	・JMA日本メイクアップ技術検定3級内容 ・テーブルセッティング10分 ・クレンジング～スキンケア 10分 ・ベースメイクアップP95～110 ・チーク、ハイライト、ローライト【メイク】					準備物:メイク道具一式				
	6	・JMA日本メイクアップ技術検定試験3級内容 全行程を通す ・タイム追い(・準備10分 ・実技30分)【メイク】					準備物:メイク道具一式				
	7	・JMA日本メイクアップ技術検定試験3級内容 全行程を通す ・タイム追い(・準備10分 ・実技30分) ※添え手、声掛けのチェックと強化【メイク】					準備物:メイク道具一式				
	8・9	・JMA日本メイクアップ技術検定試験3級内容 全行程を通す ・タイム追い(・準備10分 ・実技30分) ※添え手、声掛けのチェックと強化【メイク】					準備物:メイク道具一式				
	10・11	・JMA日本メイクアップ技術検定試験3級内容 全行程を通す ・タイム追い(・準備10分 ・実技30分) ※添え手、声掛けのチェックと強化【メイク】					準備物:メイク道具一式				
	12・13	・JMA日本メイクアップ技術検定試験3級内容 全行程を通す ・タイム追い(・準備10分 ・実技30分)実技チェック～フィードバック【メイク】					準備物:メイク道具一式				

授業計画

14・15	・JMA日本メイクアップ技術検定試験3級内容 全行程を通す ・タイム追い(・準備10分・実技30分)実技チェック～フィードバック【メイク】	準備物:メイク道具一式
16～18	JMA3級検定 & 実技試験【メイク】	準備物:メイク道具一式
1	シラバス提示、教材説明、ラベル貼り、テーブルセッティング、ファイル面取り、スティック削り、ネイルケア(プッシャー角度、ニッパーハンドリング確認)【ネイル】	スティック削りが時間内に終わらない場合は宿題
2	ファイリングデモ(ラウンドの形を確認) カラーリング(赤&ベージュ) トップコート(ツヤ、量)【ネイル】	
3	前回の復習 ファイリング & カラーリング相モデル【ネイル】	
4	ネイルケア(プッシャーについて、プッシュアップ、プッシュバック) ニッパーのハンドリング見直し【ネイル】	
5	チップラップデモ、実践 (シルクラップの取り扱いと種類)【ネイル】	
6	カラーリング相モデル (タイムを意識する)【ネイル】	
7	3Dアート (ミクスチュアの取り方、操作開始のタイミング、造形の仕方)【ネイル】	
8	3Dアート (ハート、丸花、とんがり花)【ネイル】	
9	3Dアート (リボン、バラ)【ネイル】	
10	実技テスト(3Dアート) 3Dミックスメディア【ネイル】	
11	3Dミックスメディア【ネイル】	
12	チップラップデモ、実践 (仕上がり:ハイポイント、ツヤ、パブル)【ネイル】	
13	チップラップデモ、実践 (仕上がり:ハイポイント、ツヤ、パブル)【ネイル】	
14	模擬試験【ネイル】	
15	苦手意識の克服 最終的なクオリティーを確認【ネイル】	
16	通し練習【ネイル】	
17	通し練習【ネイル】	
18	実技テスト(チップラップ+3Dアート デザインを2パターン)【ネイル】	
1	まつ毛エクステーションとは【アイリスト】	配布したプリントに目を通す。
2	用具の配布・用具の用途【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
3	用具の配布・用具の用途【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
4	1章:まつ毛エクステーション概要・用具について【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
5	1章:まつ毛エクステーション概要・用具について【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
6	1章:まつ毛エクステーション概要・用具について【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
7	2章:衛生管理・机上のセッティング【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
8	2章:衛生管理・机上のセッティング・テープ貼り【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
9	2章:衛生管理・机上のセッティング・テープ貼り、ツイザーの持ち方【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
10	3章:保健・皮膚、アレルギー【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
11	まつ毛に関する知識【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
12	4章:カウンセリング・アフターケア・基本姿勢【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
13	基本姿勢～エクステーションの装着・エアブラシの使い方【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
14	基本姿勢～エクステーションの装着・リムーブについて【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
15	机上セッティング、装着、グルー【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
16	机上セッティング、装着、グルー【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
17	机上セッティング、装着、グルー【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
18	机上セッティング、装着、グルー【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
19	検定対策(実技・筆記)【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
20	検定対策(実技・筆記)【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
21	検定対策(実技・筆記)【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと
22	検定対策(実技・筆記)【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと

	23	検定対策(実技・筆記)【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと				
	24	検定対策(実技・筆記)【アイリスト】	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと				
評価方法	【メイク】(1)授業の中でJMA3級検定受験＆実技テストを実施する。(2)所作・道具の手入れなど実技テストの際にテスト項目とする。 【ネイル】(1)授業の中で小テストを実施する。(2)宿題・レポートを実施する。(3)定期試験(実技)を実施する。 【アイリスト】(1)授業の中で小テストを実施する。(2)宿題・レポートを実施する。(3)作品発表(実技)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 ※下記評価の評価割合は時間数に基づくものとする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	3級検定合格(実技テスト)【メイク】						30%
	定期試験【ネイル】		○		○		15%
	小テスト【ネイル】		○		○		12%
	宿題・レポート【ネイル】				○		1%
	小テスト【アイリスト】				○		32%
	宿題・レポート【アイリスト】					○	5%
	発表・作品【アイリスト】		○				5%
履修上の注意	【メイク】出席が4/5に満たない場合は実技試験の受験資格を与えない。 【ネイル】授業では各自に戻しておくこと ネイルチップ、両面テープを準備しておくこと。出席が4/5に満たない場合は定期試験(実技)の受験資格を与えない 【アイリスト】準備物は、授業前に確認して忘れ物がないようにすること。・細かい商材や破損しやすいものがあるため取り扱いには純分気を付けること。						

課目名	GCB II						
課目名(英)	GLOBAL CITIZEN basic II						
単位数	1単位		時間数	16時間		担当者	山口薫・江藤登志美・森健太・山之口葉摘・遠藤広美
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験	美容室にて美容師として勤務
対象学科・学年	美容科 2年						
授業概要	社会の変化に対応出来る良識とスキル・知識を備え、常に挑戦する意欲に満ちた専門職として育成し、即戦力として社会に送り出す。世界は自立しながらも互いに協力しながら成り立っている為、恵まれた人生に感謝し、地域国家の発展の為に貢献できる人材であるグローバルシティズンを目指す。						
授業形式	講義:		演習:		実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				考えることの大切さを知る(先人の話や自分を取り巻く環境についての具体的な話から、様々な事を考える。)	
	○					自分の言葉で伝える大切さを知る(言語化の作業を沢山行う事でその大切さに気づき、自分の成長を実感する)	
		○				目標の大切さ、志の大切さを知る(目標が定まらなければ、行動できない事を知る)	
				○		行動する大切さに気づく(知行合一、学んだことは行なわなければ意味が無い事に気づく)	
テキスト・教材 参考図書	GCBテキスト 視覚教材						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	グローバル シティズンと志 ～志とは何か。どうすれば志を立てる事が出来るのか～					
	2	なぜ志をたてる事が大切なのか ～世界中の中の日本 日本の私の私～					第1講話のレポート提出
	3	自己を知る ～私の過去・現在・未来～					第2講話のレポート提出
	4	伝える力を学ぶ ～「個」としての伝える力を高める(自分の言葉で自分の思いと考えを伝える)～					第3講話のレポート提出
	5	伝える力を学ぶ「グループコミュニケーション」 ～勇気と思いやりを持って言葉のキャッチボールを～					第4講話のレポート提出
	6	与えられた一度の人生に感謝し、志高く生きる。(言葉の力とプロ意識に学ぶ)					第5講話のレポート提出
	7	自己の大切さと責任を自覚する。					第6講話のレポート提出 スピーチ練習
	8	GCB IIを受講して、私が感じた事・気づいた事・学んだこと					第7講話のレポート提出
評価方法	(1) 受講後には毎回レポートを提出する。 (2) 最終授業の中で1人2分間のスピーチを実施する。 (3) 成績評価基準は、出席、レポート、スピーチを加味し(R)認定とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	○					50%
	発表・作品				○		50%
履修上の注意	特段の事情を除いて、授業は休まないでください。授業中の私語は、厳禁です。復習は必須です。						